

讀者の領分

注意
長文及水彩畫は無断採りものは御断り。
◎印は編者の答へ投票の要點のみを掲ぐ。

●二月の中學世界の海はステキ『みづゑ』の石版もあの位の大きさにして下さい(D A) ●1私には水彩畫をかくと筆の尖を替める癖がありますが有害でせうか? 紙數増加は希望、紙は悪くとも價格を安く願ひたい(岡山、碧花生) ●1有害な繪具があります ●私は水彩畫は出来ませんが夫を御承知で御交際して下さい(京都商業學校にて北村壽峯) ●風景畫帖は當地に来ておまへん直接でなければ買へませんか(大阪江亭) ●賣捌方面は現金主義ですから東京以外の地の書店へは出しませぬ直接の御注文を希望します ●諸君の内にてスタッツブックの古くて不用なのがあれば相當の御禮をしますから御送り下さい ●繪が仕上つて後畫面(或は單に陰所)を齒磨楊子の柄で磨ると面白光澤が出来ます(後藤孤崖) ●皆さんへ、水彩エハガキの交換を願ひます 不手際ながら必

ず返信します(能登輪島町、北澤文學同志會 内天美) ●競技會の出品繪ハガキの裏面に筆太ていろ／＼文句がありますがあれは鉛筆か何かで姓名のみに願ひたい(冬峯) ●要塞地内(三浦半島)で寫生する手續を教へて下さい(横濱凸坊) ●寫生の目的、區域、日限等を詳記して東京灣要塞司令官を宛名に參謀本部へ三錢券を添へて願書を出せば直ちに許可されるべし ●『みづゑ』第二の出来期限は何日ですか(愛讀者) ●紙型もあり口繪の石版もありますから申込の數によつて重版する筈です ●當地では『みづゑ』大喝采、彩色畫には人物動物も出されたし價の高くなるのは厭はず、より立派なものを出されたし(神戸、MY生) ●懸募繪畫は靜物寫生にてもよきや又木炭紙に畫きてもよきや、三宅先生の宿所を知りたし(嗜町黙蛙生) ●差支なし紙も何でもよし、三宅氏は豊多摩那庭橋町角管七六一 ●卷首の口繪には歐米大家の作品か又は大下先生、三宅先生の新作品に限られたし(城西みどり生) ●僕は『みづゑ』の六を讀て大に感じた一人て由來大の『みづゑ』最負になつた、時々あんな面白い雑誌を出して下さい(羽后秋光庵) ●一度水彩繪ハガキの交換を願ひたら諸方から集まりました一々御返禮をして居ます此後も澤山願ひます、猶スタッツ畫の交換會も開き度同好御賛成の方は當欄又は小生の許へ御通

信を請ふ(津市大門町伊藤方島谷春山) ●1石版も結構であるが寫眞版に色の説明を附して澤山入れて頂きたいと九號には石版が少くないが紙數増加の爲めてですか(伊勢服部生) ●1道々御希望に副ひませうと每號二葉が定めて經濟の餘裕が出来た時三枚つけるのです ●暖かくなつて來た諸君盛んに腕を振り給へ(はらのやま) ●病氣のため交換遅延の處々快につき不相戀：：野外寫生の好時節、眞面目の作品を望む(數唐坊) ●地方の讀者さまに繪ハガキの御交換を願ひます、妾は自筆水彩の風景畫を望みます失禮ながら字のお下手な方や粗末なものは：：(半込染地町十九河合方翠野ゆめ子) ●1競技會の課題出品は一枚に限るにやとハガキに會のスタンプは押されぬにや(長野小林) ●1何枚にてもよろし其内にて佳なるもの一枚を選ぶと御望なら押あげます。

畫會

○うしほ會 ○所在八王子 ○會員四十八名 ○毎月一回會員繪畫作品を集め水影と號し批評を附して製本す ○時々寫生會を催ふす ○年二回展覽會を開く(大野清氏報)